

# あけ

平成二十四年一月号 No457  
 発行〒666-0024 川西市久代1丁目5番42号  
 (株)クシロ内 へら研阪神クラブ  
 TEL 072-759-7023 FAX 072-759-8815  
 編集 滝沢 亨 稲森 豊  
 Photo 柴田忠幸 郷田 満 藤井秀和 滝沢 亨



## 謹賀新年

### へら研阪神クラブ 会長



へら研阪神クラブの皆様、謹んで新年  
 申し上げます。今年も皆様のご健釣と、  
 ご健康をお祈り致します。

昨年は三月十一日の東日本大震災や  
 相ついで来襲した台風による大雨等、玉  
 ました。私達にはこれらの直接的な被害  
 た様ですが、野菜等の農作物の高騰、生  
 不足等の影響が出ました。又、原発事故  
 射能汚染は毎日テレビや新聞で伝えられ  
 今もなお深刻な問題になっています。

六月例会では杉原さんに事故があり、  
 盤と明るいいニエースが少ない年でした。

へら研阪神クラブ創立四十五周年事業  
 月二十日に開催した野釣り教室には多数  
 が参加され、協賛戴いた各方面の皆様や  
 の方々の協力のもと、無事終了する事が  
 した。ここに深くお礼申し上げます。

へら研阪神クラブが長く熟成させてき  
 ぶな釣りへの熱意が表せたのではないかと  
 います。今年は記念行事で深まった「絆」  
 もっと多くの人たちにくらぶな釣りを致

参加を待って開催した  
 午前6時30分、加古川大堰右岸下流の河  
 敷駐車場に集合。  
 稲森会長の挨拶、郷田理事長よりオープ  
 ンの小松正さん、熊田智文さん、川村静香  
 さんが紹介されました。続いて競技方法の説  
 と釣況報告が行われ、水管橋左岸の本流向  
 で35cmクラスが十数枚釣れたとの事。  
 そして十一月例会までの上位者の得点報  
 があり、4位から下が大混戦で最終例会で  
 釣果如何でベストテンの行方は..。  
 先月に続き加古川で例会だが、日一日と気  
 が下がり釣り辛くなっている。フリーでの  
 川で、上流は西脇から下流潮止めと、各支  
 に入川し広範囲に散らばった。  
 先週良型が釣れた東条川や美轟川は不調  
 、試釣報告で良く釣れた水管橋左岸上流で  
 24尺前後の長竿でポツリポツリ釣れ出  
 、40cm上も混じって来た。が、他の場所  
 はポイントムラや喰い渋りで悪戦苦闘。  
 午後4時、検寸終了。  
 水管橋左岸上流に入った稲森さんが40  
 を2枚揃え釣り優勝。2位の田路さんは上  
 二段堰、3位の北尾さんは水管橋左岸上流  
 それぞれ良型を釣り入賞した。最長寸は川  
 さんが釣った43・3cm。釣果率64%。

### 12月例会成績表

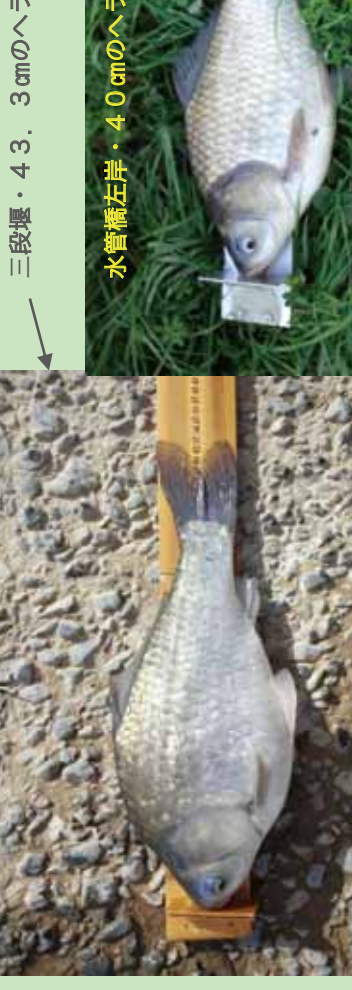
(ヘラブナ二尾長寸)

優勝	稲森 豊	80.5cm	460点
2位	田路 秀一	79.3cm	450点
3位	北尾 博之	77.4cm	440点
4位	元吉 茂司	77.2cm	430点
5位	伊藤 規行	75.9cm	420点
6位	森田 定美	74.8cm	410点
7位	谷名 正博	74.7cm	400点
8位	郷田 満	74.2cm	390点
9位	白井 良紀	72.0cm	380点
10位	田中 秀雄	71.9cm	370点
11位	明石 徹	69.5cm	360点
12位	佐藤 忠純	67.3cm	350点
13位	脇阪 博藏	66.7cm	340点

(以下参加点100点)

松下 英樹、柴田 忠幸、坂東 英昭、井上 裕之、岡田 寿夫、藤井 栄子、足立 仁、山本 尚美、山本 真一、鈴木 誠司、加藤 小松 正 (オープン参加)

14位	高木 勇作	65.2cm	330点
15位	三木 修	63.5cm	320点
16位	栗原 天高	63.1cm	310点
17位	藤井 秀和	58.6cm	300点
18位	川上大二郎	43.3cm	290点
19位	滝沢 享	39.7cm	280点
20位	大橋 充	38.3cm	270点
21位	川村 静香	34.5cm	(オープン)
22位	瀬野 利夫	34.0cm	260点
23位	柴田美恵子	33.5cm	250点
24位	熊田 智文	33.0cm	(オープン)
25位	杉山 健一	30.3cm	240点



三段堰・43.3cmのヘラブナ

水管橋左岸・40cmのヘラブナ



稲森会長の前座理事長の開会の辞が始まり、稲森会長の挨拶、郷田理事長より年間行事報告。日井会計より会計報告があり、三木監督より監査報告がされ参加会員から拍手を持って承認されました。続いて年間表彰が行われ、皆勤賞二十一名、年間優秀賞は田中秀雄さん、大型賞も田中秀雄さんと冠に輝いた。精勤賞は井上裕之さん、新人賞は山本真一さん。

引き続き平成二十四年度の予算案とその他議題へ移り、昨年同様5月に一泊釣り親睦会と、一部の人が参加できないので日程をも少し早めて欲しい。45周年記念グッズを何か作る。賞品の商品券を他の商品券に変更。徳島へ例年参加時は車庫に補助を、と等々要望があり、期待に沿える様理事会にて検討する事とした。

### 平成二十三年度各賞

**皆勤賞**  
明石 徹、稲森 豊、大橋 充、岡田寿夫、加藤 仁、川上大二郎、北尾博之、栗原天高、郷田 満

- 年間優秀賞**
- 優勝 田中秀雄 四三五〇点
  - 2位 滝沢 享 四二二〇点
  - 3位 北尾博之 三九一〇点
  - 4位 高木勇作 三八〇〇点
  - 5位 田路秀一 三六六〇点
  - 6位 脇阪博蔵 三五八〇点
  - 7位 栗原天高 三五四〇点
  - 8位 元吉茂司 三五二〇点
  - 9位 加藤 仁 三四一〇点
  - 9位 川上大二郎 三四一〇点

- 年間大型賞**
- 優勝 田中秀雄 50・0 cm 東条湖
  - 2位 川上大二郎 49・0 cm 七区調整池
  - 3位 栗原天高 49・0 cm 東条湖
  - 4位 谷名正博 48・5 cm 旭川品田橋
  - 5位 稲森 豊 48・1 cm 琵琶湖
  - 6位 井上裕之 48・0 cm 新成羽川ダム
  - 7位 滝沢 享 47・8 cm 新成羽川ダム

- 努力賞**
- 足立我朗、杉原武弘、鈴木誠司、綱島清一、板東英昭、藤井秀和、藤井栄子、藤田 武、三木 修、松下英樹、山本 勉、山本尚美、安藤紀久夫



燃え尽きま

### 年間優勝者 田中秀雄

新年おめでとうございまも亘しく願います。

昨年は激動？の一年でと思われ。曇気は回復難は続き、短期間にコロナ日本の首相と後手に回る激な円高！何と言っても震災と原発事故・・・

せめてもの明るいニュースとしてスポーツ関係の、なでしこの活躍と日本人大関誕生ですか・・

さて昨年、私は念願のVする為に新年より目標を参加をしました。一度もホで小べらでもと思つていま悲しい事に2回もなつてした。(釣りは難しいです)

十月には四十五周年行われ、五十周年に向けて邁進の稲森会長の卓越した運



又も大キライな加古川で

**優勝者 稲森 豊**

加古川で優勝した時にも書きま、私は加古川が大キライです。大キライな加古川で、又優勝してました。り教室がらみで二ヶ月連続の加す。十一月は大堰左岸上流に入30cm前後に終わりました。釣いまいち私の思うところではな化不良といったところです。

前週に所用で近くへ行つた時に水面を見ると、水管橋の100m、150m位にモジリがあつて、もう決定的！

当日はオープン参加の二人の道案内をして来たが、二人はテニスコート前に入ると言うので水管橋の前で分かれしました。駐車場所には元吉さんがもう道具を降ろしているのが見えた。前週の日曜日に郷田さんと二人で良型を沢山釣ったそう。

川岸に着くと元吉さん、郷田さんは前週釣れたポイントへ。私と北尾さんは二人の上流に入り、年間賞の上位争いの二人にカヤの外の私と郷田さんが採まれた形だ。

昨年の十二月例会では川底をよく探らなかつたので、一枚に泣いた。今回は底を丹念に見たつもりが、一投目から根がかり。二投目もまた根がかり、すぐさま数メートルかみ手へ移動。

24尺のドボン仕掛けに両バラケを打ち返す。初アタリはコイらしき力持ちに、ギューン、ブツン！、二匹目は40cmのコイ、へうらしきウロコ。バラシが続いた後39・5cmが釣れた。

その後もコイとバラシの連続で2枚

くして午後の釣りを開始。

シモリ外れの様なトップの上がりの方が更に2節余分に出て40・5cmが釣れた。

優勝ラインに届いたので余裕綽綽と言いたいのだが、実は大ゴイの連発にうんざりの一日でした。

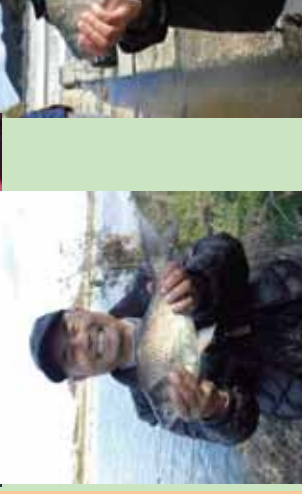
最後の月に優勝出来たのは、無事45周年事業を終え、35年連続で皆勤出来た私への、皆様からのプレゼントかと一人で思っております。

平成二十四年もよろしくお願

## 12月例会 加古川 上位入賞者の仕掛け、エサなど

道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
2号	1号	上13号 下13号	マヅメ、バラケG、赤べら、真底	水深2.7m ドボン	5枚
1.5号	0.8号	上8号 下7号	マハ、バラケG、へらスミミー	水深1.5m ドボン	2枚
1.2号	1号	上10号 下10号	新べら、いもガルフ、α21	水深2.7m ドボン	10枚
1.5号	1号	上8号 下8号	ペレ道、粒戦 α21、いもグルテン	水深2m ドボン	10枚
1.5号	1号	上9号	マツシユ、真底 いもグルテン、わたグル	水深2.5m ドボン	4枚

順位	氏名	得点	例会参加	行事参加
1	田中 秀雄	4350	12	○
2	滝沢 享	4120	12	○
3	北尾 博之	3910	12	○
4	高木 勇作	3800	12	○
5	田路 秀一	3660	12	○
6	脇阪 博蔵	3580	12	○
7	栗原 天高	3540	12	○
8	元吉 茂司	3520	12	○
9	加藤 仁	3410	12	○
9	川上大二郎	3410	12	○
11	瀬野 利夫	3370	12	○
12	柴田美恵子	3340	12	○
13	杉山 健一	3320	12	○
14	柴田 忠幸	3270	12	○
15	藤井 秀和	3230	10	○
16	明石 徹	3190	12	○
17	稲森 豊	3140	12	○
17	佐藤 純	3140	12	○
19	井上 裕之	3130	11	○
20	松下 英樹	3080	11	○
21	郷田 満	3020	12	○
22	伊藤 規行	3000	10	○
23	岡田 寿夫	2630	12	○
24	大橋 充	2600	12	○
25	白井 良紀	2370	12	○
26	綱島 清一	2330	10	○
27	森田 定美	2300	11	○
28	藤井 栄子	2210	10	○
29	谷名 正博	2070	7	○
30	板東 英昭	1970	11	○
30	三木 修	1970	10	○
32	山本 真一	1930	8	○
33	安藤紀久夫	1740	10	○
34	藤田 武	1670	6	○
35	足立 戎朗	1640	10	○
36	鈴木 誠司	1390	6	○
37	杉原 武弘	1370	6	○
37	山本 勉	1370	9	○
39	山本 尚美	980	8	○
	菅峰 孝		8	○



オープン参加の上・熊田智文さん  
下・川村静香さん

皆さんへハラブナを

役員の方の御助力の賜物と思っております。そんな記念の年にV3を達成出来た事は嬉しく思っています。

個性の強い？釣師のクラブの「阪神クラブは良い仲間たちでか。」今年は何かの御縁で「W」さん、「M」さんと例会で釣りをする機会が多くなりました。何れもトップ釣りの名手ですが、残念ながら釣りは苦手な様でした。

「虎は我が子を愛するが故に千尋谷に落とす」と言う話がありました。そこで私はW、M両名さんの為また少しでも協力出来ればと徹底指導致しました。針の大小、段の取り方、エサの作り方。ウキの浮きの変化で上なのか下なのか、どこにへらが居るのか等々、私の全てを伝授しました。

自分の釣りのポリシーが邪魔すのか最初はなかなか納得出来な様で、正直なところ私は途中で諦めていました。しかし、回を重ねるに理解出来た様で、良い成績を残しました。

一方的な考え方も解りません

「第二のよれさん」が生まれてくれれば、私はこれ以上の喜びはありません。

本年は少し離れてお二人さんが何処でも教えを忠実に守り、自分のモノとするか楽しみにしています。

私も本年で七十二歳を迎え、日増しに体力の衰えを感じてまいりました。今まで頑張り過ぎたと思っています。

今回は両手に花を持たせて戴きましたが、V3達成は私の技術のみでなく大型釣り名人の「稲森会長」さん、常勝釣り名人の「滝沢副会長」さんがここ数年「お休み」されていた事が最大の要因かと思われま

す。本年からは「普通のオジイさん」になって釣りを楽しみたいと思っています。

**やっと釣れました！  
年間大型賞 田中 秀雄**

阪神クラブに入会し程なく四十年を迎え、入会十年位に旭川ダム早土橋上流のワンドで45cmを釣り、その後三十年の月日が流れ、ようやく四月二十一日に東条湖で自

り場に行く事。第二にタイミングを逃さない。第三に広い釣場の何処にへらが居るのかを把握する。第四がその釣場のへらの習性（クセ）を知る事だと思ひます。東条湖もクセのあるダム湖だと思ひます。

近年農業用水用に変ったのが、水位は常にコンピュータ管理され、大雨で増水後も僅か2、3日で減水します。また年によつては大川瀬ダムからの放水で急に満水になる事があります。春の乗っ込みは例年ならお彼岸後から、最終は五月の連休までハタキがあります。

過去に例会を行った事もあるのですが、駐車スペースがなく使用されなくなりました。その当時は中型のへらが多かつたのですが、今では大型ばかりで40cmは小さい方で、45cmから50cmがレギュラーサイズと認識しております。中には60cmクラスもいます。

釣れた当日は鴨川左岸しも手のカーブ出づ張りに入り、竿十六尺、道糸2号、ハリス1.5号、ハリ十号でマツシユにいもグルテンのフシンド、水深50cm位の枯れ草の切

り、45cmクラスが釣れました。その後、7、8、9cm前後ばかり釣る。その中で少し長く思えたへらを調べてみるとビックリの50.1cmあり、釣友に確認と写真をお願いし後は、ボケー1つとしてしまいました。

へら師の目標寸の達成後はこれ以上大型を望みませんし、釣れなくても良いと思ひます。なぜなら、前回大型が釣れた興奮が消えてしまつてからです。この満足感で十分と得しています。

平成二十四年年間行事予定

一月例会	一月八日
二月例会	二月十二日
三月例会	三月十二日
大型釣り研究会	三月二十一日
春季大会	四月八日
五月例会	五月十三日
親睦一泊釣り会	五月二十一日
六月例会	六月十日
七月例会	七月八日
八月例会	八月五日
九月例会	九月九日